



川原遊び④…2日(火)

雨続きでなかなか行けずいた川原。6月26日の続きから「船を2つにして競争したい」と話していました。川原につくと船の分解が始まりました。さっそく2人組で乗ってみました。雨上がりのせいか、水嵩が増し勢いもありました。2人で乗ってとても楽しかったのですが、やはり競争してみたいという思いが強くレースを開催しました。



すると周りで見っていた3歳児が応援してくれました。「がんばれ」の声が入ります。流れなくなると足や手を使っていました。何度も経験しているからこそ乗り方も上手になり楽しめているのだと思いました。座って乗るよりおなかをつけて乗ったほうが“安定して安全”ということも知ることができました。



教わるのではなく身をもって体験し知り得たことだと感じました。



3歳児の子たちは、温泉づくりの真っ最中。川で遊んだ年中長児が「温泉入れて。あったかい」と温まっていた。「ラーメンもありますよ」と砂のごちそうを差し出す姿もあり自然にかかわりが生まれていました。とても素敵な関係が築けていると実感しています。これからもこの仲間関係は大切にしていきたいです。

川原に行くたびに、遊びのアイデアが溢れています。「次は自分の船を作りたい」と材料を考え挑戦するようです。みんなで乗れる船作り～自分の船作りとなりどんな船にしようか一人一人が考え中です。自分のしたいことの実現に向けて支援していきます。

川原遊び⑤…3日(水)

昨日自分の船を作り川に到着するとすぐに試乗してみました。いい感じに流れ満足だったのですが、様々なものを使って流れるか試してみたくなった子がいて、発砲スチロール蓋をビート板に見立ててやってみました。思うように流れませんでした。次は箱の部分を使います。川に浮かべたとたん安定が悪くそれでも乗りましたがグラグラして怖さのみが残りました。お風呂マットではどうだろう？と挑戦です。いい感じでしたが顔と川の距離が近くやはりペットボトルの船が1番との結果が出ました。発砲スチロールの箱は魅力的で水のないところでは本当の船のように乗ることができます。どうかして乗れないだろうか…下にペットボトルをつけてみようか…などとアイデアが出て製作中です。また明日も行く予定です。どんな船になるのか楽しみです。試行錯誤しながら川原遊びに取り組んでいます。



3歳児は今日も温泉づくり。「寒くなったら入りに来てください。ごはんもありますよ」と年中長児のために作ってくれました。「あったかいね。ひとやすみ」と手作り温泉で温まる様子もありました。流れているところと溜まったところの水温の違いを肌で感じる子どもたちでした。



挑戦してみたよ



川下りは、怖さがあるのでドキドキものです。その気持ちを理解しそれぞれのやりたいと思うタイミングで行うようにしています。今日はやってみたい気持ちになり3歳児のみんなが船に乗ってみました。ダイナミックに流れる子、教師と一緒に流る子、流れない場所で雰囲気味わう子それぞれの気持ちを大切にしながら支援しています。